

## 会 議 録

### 1 会議名

令和6年度 第4回春日区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 報告事項（公開）

- ・令和6年度地域協議会ファシリテーション研修、正副会長意見交換の概要について

### 3 開催日時

令和6年9月11日（水）午後6時30分から午後7時10分まで

### 4 開催場所

上越市市民プラザ 第1会議室

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田芳明、池亀 守、市川 優、上野 博、太田一巳（副会長）、折橋 誠、小林 桂、崎田郁雄、瀧本理恵、田中裕子（会長）、谷 健一、原 郁夫、本多俊雄、山谷由美子、吉田 実、吉田義昭、渡部忠行（欠席3名）

- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、鈴木主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【井守副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

#### 【田中会長】

- ・挨拶

#### 【井守副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

## 【田中会長】

- ・会議録の確認：上野委員に依頼

次第3 議題「(1) 報告事項」の「令和6年度地域協議会ファシリテーション研修、正副会長意見交換の概要について」、私から報告する。

8月1日木曜日、ミュゼ雪小町で、地域協議会の正副会長を対象にファシリテーション研修が行われた。研修の目的は、会議を円滑に進めるため、参加委員の発言を促しながら、多様な意見を調整し、議論を広げ、最後には議論を収束させ合意形成を図る技術を習得するというもの。28区の正副会長のうち50名が参加し、春日区からは私と松澤副会長が参加した。

ファシリテーションとは、集団活動を効果的に進めるためのコミュニケーションスキルの一つで、活動が円滑に進むよう、メンバーの支援、チームの運営を舵取りすることをいう。そして、チームの成果の最大化を目指して、メンバーを支援し、話し合いを促進させる人をファシリテーターという。

ここまで聞いて、それは会長、副会長の役割で、自分たちには関係ないと思われたかもしれないが、知恵を結集させ、有意義な対話の場にするためのアドバイスを4つ挙げる。①誰が何を言ってもいいという雰囲気づくりをする。②批判しない。③最初は質より量、たくさんの方がたくさん意見を出せるようにする。④便乗は大歓迎。他の人の考えに自分の意見をプラスしてもよい。委員が意見を出したときに、別の委員が即座に「それは無理だ」と否定すると、発言者だけでなく、他の委員の考える意欲や発言する意欲が低下し、話し合いがそれ以上膨らまなくなる。広げるときには広げ、絞るときは絞る、というふうに工程を分けて、合意形成に向けて進んでいくことが大切である。

当日はグループ討議も何回か行われ、その中で「話が長い人がいる」という設定で、その人の良いところを探し、言葉にすることをを行った。主な意見として、「話が長い人は、物知りだから何でも答えられる」、「アイデアがたくさんあり、いろいろな引き出しを持っている」、「会議を円滑に進めようとして、意見を言いながら、結論まで導き出そうとしているために長くなってしまおう」というようなものがあった。

ここで、皆さんにもファシリテーターの体験をしていただく。質問は、地域協議会に出席して、一言も発しない人をどう受けとめるかということ。もちろん批判してはいけない。良い面を挙げて、その人の心情を理解することが大切だ。

これについて、吉田実委員はどう考えるか。

**【吉田実委員】**

今まで地域協議会の会長も経験してきたが、やはり話下手な人や、非常に控え目な人はいる。なるべく指名して、皆さんに発言してもらうようにしていた。

**【田中会長】**

内気な人という受け止め方。

吉田義昭委員はどう考えるか。

**【吉田義昭委員】**

司会者が指名して、そこから意見を引き出すような投げかけをしないと出てこない。司会者の腕次第であり、上手く運営していただきたい。

**【田中会長】**

答えられないことは答えなくていいが、これからは指名して、発言する機会を増やしたいと思う。

渡部委員はどう考えるか。

**【渡部委員】**

地域協議会に参加している以上、それは最低限の役目だと思う。発言しないということは、意見が無いということ。内気で発言できない人は、ここに来る意味がない。発言しない人に対して、良い解釈をするにはどうするかというのが、話さなければ何を考えているか分からない。

**【田中会長】**

良いところを知るのは、とても難しい。それを良いように解釈し、司会者が指名して発言を促してあげることが大切である。

崎田委員はどう考えるか。

**【崎田委員】**

以前聞いた話だが、発言しない人には「何も考えが浮かばないから言わない」、「皆と同じだから言わない」という理由がある。意見を引き出すには、司会者が順番に当てるとか、顔色を見て聞くなどして進める方法がいいと思う。何も言わないからといって、何も意見が無いわけではないと考える。

**【小林委員】**

何も言わないのは、思考を巡らせている可能性がある。初めて地域協議会に参加し、皆さんの話を聞いて、自分なりに解釈している最中かもしれない。だから、ただぼんや

りしたり、時間を潰したりしているのではなく、いろいろ考えているという側面はある。

今回は発言がなくても、2回目、3回目の中で意見が出てくることも当然ある。特にここは長い期間で話し合っていく会であり、そういう部分も含めて考えると、皆さんの存在自体が貴重な会といえると思う。

#### 【池亀委員】

ここに参加している人は、それなりに見識を持った方だと思う。私は、自分の意見が「賛成」なら、「賛成」と言うだけでもいいと思う。発言せずに後から、「いや、あんなことじゃなかった」とか「本当はこうなんだ」と言わないようお願いしたい。

#### 【田中会長】

気持ちよく会議を進めるには、認めてあげることがとても大切だ。私の立場から指名しながら、いろいろな意見が出るようにしていきたい。

#### 【太田副会長】

私は他の会議にも出席する機会が多く、やはりどの会議でも発言しない人は存在する。以前、会議終了後にその理由を聞くと、同じ考えの人が発言をされていて、同じことを話すと意見が被ってしまい、手を挙げなかったとのことだった。会議で発言しない理由として、自分と同じ考えを他の人が先に発言している場合があり、同意見と発言してもらえれば良いが、そこまでする必要がないと判断するのかもしれない。

どの会議も、たくさん意見が出ると時間が長引くので、自分の発言で会議が長くなり、終了時間が遅くなるという遠慮した気持ちで発言できない場合もある。また、自分の考えを上手くまとめることが苦手で、発言できない人もいる。人前で話すのが苦手な人もいる。

ファシリテーターというと難しい言葉になるが、皆さんの考えの引き出しを引っ張ってくれるように会議を進める人のことだと思う。だから、会長や副会長だけでなく、皆さんにも、言うばかりではなく、発言してもらおう側の立場を経験してもらおうと、視野が広くなり良いと思う。

#### 【田中会長】

今回の研修で学んだことを今後の地域協議会にいかし、委員の意見を多く引き出せるように進めていきたい。

以上で、次第3議題「(1) 報告事項」の「令和6年度地域協議会ファシリテーション研修、正副会長意見交換の概要について」を終了する。

次に、次第4その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

**【井守副所長】**

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 委員研修（非公開）：10月9日（水）午後6時30分から

上越市総合体育館 1階 ミーティングスペース（予定）

**【田中会長】**

ただ今の説明について、意見を求める。

（発言無し）

意見が無いようなので、以上で次第4その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

**【吉田実委員】**

- ・ 春日区地域協議会の委員全員を対象とした、ファシリテーション研修の開催を提案。

**【田中会長】**

事務局と協議する。

他に何かあるか。

（無しの声）

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。